

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集

第15回広島国際アニメーションフェスティバル

第15回広島国際アニメーションフェスティバル HIROSHIMA2014 を振り返る

「愛と平和」をメインテーマにする第15回広島国際アニメーションフェスティバルが2014年8月21日～25日にアステールプラザ（広島市中区加古町）で開催されました。このフェスティバルは国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）公認の大会として世界四大アニメーション映画祭の一つにも数えられます。1985年の第1回大会以来、優れた作品発表の場として世界中のアニメーション作家やファンなどに注目され、応募作品数も回を重ねるごとに増えています。

第15回大会では過去最高となる2,217作品（74カ国・地域）の中から5月の選考審査を通過した59作品が、コンペティション（公開審査）によって審査され、グランプリなど17作品が入賞しました。

フェスティバルではコンペティションの他に、特別プログラムとして広島大会設立30周年記念特別プログラム（歴代受賞作品特集、歴代名誉会長特集）の上映、ピクサー最新短編作品の上映とセミナー、カートゥーンネットワークやLAIKAなどの世界的映像会社のセミナー、国別特集としてハンガリー特集など期間中65プログラム634作品の上映なども行われました。さらにサブイベントとして広島大会設立30周年記念特別展のほか、ノーマンマクラレン生誕100

周年記念展やハンガリー展、国内の主要なアニメーションの教育機関（12校）がブース出展した「エデュケーショナル・フィルム・マーケット」、子どもたちを対象としたアニメーション・ワークショップ「キッズ・クリップ」、学生向けのシンポジウムやセミナー、プロを目指す若手の発表の場「フレーム・イン」、プロのための作品持ち込みやビジネス交流の場である「ネクサス・ポイント」など10イベントも実施され、アニメーションの祭典にふさわしい大会になりました。

また、会場内には、大会前日に発生した広島市豪雨災害の義援金箱が設置され、国内外の来場者から多くの義援金が寄せられました。被災地を応援する声も多くあり、広島の復興に向けて、愛と希望に包まれた大会でした。

木下小夜子フェスティバル・ディレクターは、「アニメーション芸術文化の振興を通して恒久平和を希求する場所として、40年、50年と頑張りたい。」と引き続きの支援を呼びかけるとともに「2016年の夏！皆様と共に新たな一歩を踏み出したい。また広島でお会いしましょう！」とフェスティバルを締めくくりました。



● グランプリ ●

ザビガー ピクチャー (THE BIGGER PICTURE)
 デイジー ジェイコブス Daisy Jacobs
 (制作国名: イギリス)

[受賞の理由] 20 世紀半ばの上品でモダンな美しさと個人の心痛む物語との調和。絵画的な二次元のアニメーションと三次元の要素やセットが独創的かつ革新的に交差しています。作品は学生によるものであり、アニメーション芸術に対する当フェスティバルの見解を象徴的に表していることは特筆に値します。



受賞作品

若い世代の才能が活躍!! 将来のさらなる飛躍を期待

グランプリとヒロシマ賞の作品は、アカデミー賞最終ノミネート決定!

● ヒロシマ賞 ●

シンフォニー No.42 (Symphony No.42)
 レーカ ブチ / Réka Bucsi (制作国名: ハンガリー)

[受賞の理由] 通常の物語作品とは異なった非常に実験的かつ新しいアニメーションの表現スタイルを評価しました。



● デビュー賞



ボールス (Boles)
 シュペラ カデシュ / Spela Cadež
 (制作国名: スロベニア、ドイツ)

● 木下蓮三賞



クワイア ツアー (Choir Tour)
 エドムンズ ヤンソン / Edmunds Jansons
 (制作国名: ラトビア)

● 観客賞



ノー タイム フォア トウズ (No time for toes)
 カリ ビエスカ / Kari Pieskä
 (制作国名: フィンランド)

国際審査委員特別賞 (6作品)

バス (Baths)
 トメク ドゥツキ / Tomek Ducki (制作国名: ポーランド)
 ロンリー ボーンズ (LONELY BONES)
 ロスト / Rostko (制作国名: フランス)
 マン オン ザ チェア (Man on the chair)
 ダヒ チョン / Dahee Jeong (制作国名: フランス、大韓民国)
 ノン-ユークリディアン ジオメトリー (Non-euclidean geometry)
 スキルマンタ ヤカイテ、ソルヴェイガ マステイカイテ /
 Skirmanta Jakaite, Solveiga Mastelkaitė (制作国名: リトアニア)
 ファントム リム (Phantom Limb)
 アレックス グリッグ / Alex Grigg (制作国名: オーストラリア、イギリス)
 ピック ピック ピック (PIK PIK PIK)
 ドゥミトリイ ヴィソツキー / Dmitry Visotsky (制作国名: ロシア)

優秀賞 (6作品)

5 メートル 80 (5 METERS 80)
 ニコラ ドゥヴォー / Nicolas Deveaux (制作国名: フランス)
 アスティグマティズモ (Astigmatismo)
 ニコライ トロシンスキー / Nicolai Troshinsky (制作国名: スペイン)
 ザ ビースト (THE BEAST)
 ヴラディミール マヴォーニア - コウカ / Vladimir Mavounia-Kouka (制作国名: フランス)
 ザ クロックメイカーズ (The Clockmakers)
 ルノーアレー / Renaud Hallée (制作国名: カナダ)
 フーグ フォア セロ、トランペット アンド ランドスケープ
 (Fugue for cello, trumpet and landscape)
 イエルジクチャ / Jerzy Kucia (制作国名: ポーランド)
 ジウンド (The Wound)
 アンナ ブダノヴァ / Anna Budanova (制作国名: ロシア)

広島国際アニメーションフェスティバル公式 HP <http://hiroanim.org/ja2014/03compe/3-06.html> より転載

【第15回広島国際アニメーションフェスティバルについてのお問合せ】 TEL: 082-245-0245 / FAX: 082-504-5658

国内外から訪れるゲストを日本文化でおもてなし
プレ上映会

アニメーションフェスティバルでは、世界の著名なアニメーション作家や関係者、市民等が集い、交流することによりアニメーション芸術の普及や発展を目指しています。大会前日に発生した豪雨災害の影響により、市民前夜祭が中止となりましたが、今回初めて企画された映画館「八丁座」でのプレ上映会は、第15回大会の全コンペティション作品のデモリール上映に合わせて、日本舞踊の演舞

や書道の実演、広島の特産品の紹介なども行われ、参加者に日本文化や広島の魅力を体感していただくとともに、会場を埋めつくしたゲストと市民の交流などが行われました。



おもてなしの様子

アニメーションフェスティバルの魅力は、アニメーションの上映だけではなく！
子どもから大人まで楽しめる、アニメーションにまつわる企画が満載です。

日本と世界の学生作品の見本市「エデュケーショナル・フィルム・マーケット」

「エデュケーショナル・フィルム・マーケット」は、大きく3つのパートから構成されています。

1つ目は、「教育機関のブース」。日本を代表する大学などの教育機関12団体が、開催期間中、学校の紹介や学生作品の上映などを行いました。



湯崎夫沙子氏のセミナー

子氏や、「ニャッキ！」で知られる伊藤有壺氏など、有名な作家や監

2つ目は、「ステージ」。大学などのプレゼンテーションだけではなく、イタリア在住のクレイアニメーション作家である湯崎夫沙

督が突然セミナーを開催し、会場は大いに賑わっていました。

そして3つ目は、世界の学生作品をDVDで自由に視聴することができる「世界の学生作品視聴コーナー」。有名な学校の学生作品のレベルの高さに驚いたり、同じ技法であっても文化圏や学校によって作風に違いがあることを発見することができます。今回は、世界43か国・地域の教育機関135校・団体の学生による589作品が自由に閲覧できました。

純粹に作品を楽しむもよし、アニメーションと教育の関係を考えるもよし、エデュケーショナル・フィルム・マーケットは、一般の方にとっても、アニメーションを志す学生や教育者にとっても、魅力にあふれる場所です。

アニメーション作りに無料で挑戦できる！

「キッズ・クリップ」、「コンピュータ・アニメーション・メイキングワールド」

「キッズ・クリップ」では、小さなお子様でもアニメーション作りにチャレンジできます。鉛筆やペンで手書きする「ドローイング・アニメーション」、粘土で作った人形を少しずつ動かして作る「クレイアニメーション」、束ねた紙に連続した絵を描いていく「パラパラアニメーション」、1枚の紙なのに絵が動く「おどろき盤」といった4種類のアニメーション作りを体験でき、絵が描けなくても、人形などを少しずつ動かして撮影することでアニメーションを作ることができます。

また、「コンピュータ・アニメーション・メイキングワールド」では、パソコンを使ったアニメーション制作を体験できます。使い方のや

さしいソフトを用いて、自分で絵を描いて動かすこともできるし、デジタルカメラなどで撮影した写真を元にアニメーションを作ることでもできます。



キッズ・クリップ

両会場では、幼児から大人まで、多くの方が、人生で初めてのアニメーション作りに挑戦していました。

レポート



10月・11月・12月

R
eport

広島のメディア芸術を盛り上げるためのイベントのレポート

国際アニメーション・デー 2014 in 広島 パラパラアニメーション教室 10月

10月28日は、フランスのエミール・レイノーが、1892年、パリのグレヴァン博物館にて、自ら発明したテアトル・オプティック（視覚劇場）を用いて、世界で初めてアニメーションを一般公開した日と言われています。国際アニメーションフィルム協会（ASIFA、本部：フランス・アヌシー市）は、この日を「国際アニメーション・デー」と定め、各国のASIFA支部を中心に、毎年10月28日およびその前後、世界中で同時にアニメーションの催しを行なう企画を展開しています。

日本も2005年から、ASIFA日本支部（ASIFA-JAPAN）が主体となってこの企画に参加しています。広島国際アニメーションフェスティバルを開催している広島市でも、10月4日～11月3日に広島市映像文化ライブラリーや公民館など市内9カ所の会場で広島国際アニメーションフェスティバルの受賞作品の上映や小・中学生を対象にした「パラパラアニメーション教室」を開催し、参加した多くの市民がアニメーションの素晴らしさに触れました。

真鍋大度氏 講演 大盛況、最先端アートの形を知る 11月

コンピュータによるインタラクティブ表現を通じて多彩な活動を展開中の真鍋大度氏による講演が、11月22日（土）比治山大学（広島市東区）で行われ、300人収容の会場は立見の方もたくさん出るほどの盛況でした。真鍋氏の活動はPerfumeのライブや東京オリンピック招致映像、フィギュアスケートのエキシビション、CMなど多岐にわたります。講演では真鍋氏がこれまで手がけられた活動について秘蔵の映像をふんだんに交えながら、最先端のインタラクティブ・アートの世界が紹介されました。また学生時代に数学を専攻された頃のエピソードや音楽に傾倒されていた話題など、真鍋氏の素顔にも触れることができた講演でした。



講演会の様子

主催 比治山大学 短期大学部 美術科 映像・アニメーションコース
共催 広島市

カメラオブスクラ8 音と映像の遊戯室 12月

12月18日（木）～12月21日（日）に、広島市東区民文化センターで広島市在住の作家らによる映像インスタレーションの作品展示がありました。5方面から映像が投影され、円筒の中からも外からも映像を見ることができる円筒スクリーンは、鑑賞者に不思議な感覚をもたらしました。



展示の様子

西条駅3Dプロジェクションマッピング

12月22日（月）の夜、東広島市のJR西条駅で、東広島市制施行40周年と西条駅開業120周年を記念した、広島の映像作家によるプロジェクションマッピングの上映が行われました。音楽と共に西条の酒造りや駅の歴史などが駅の壁面に色鮮やかに映し出され、家族連れや通勤者など多くの人を魅了しました。



主催 西条駅前商店街振興組合、一般社団法人東広島青年会議所



『この男子。』シリーズ第4弾! 発売

広島在住の山本蒼美監督制作のオリジナルアニメーション作品、『この男子、石化に悩んでいます。』のDVDが2014年12月3日から発売されました。今回の作品は、『この男子、宇宙人と戦えます。』、『この男子、人魚ひろいました。』、『この男子、悪人と呼ばれます。』に続く、『この男子。』シリーズの第4弾です。ストレスを感じると身体が石化する症状に悩む男子高校生と、鉱石や水晶など石が好きな男性地学教師による切ない恋模様を描いた本作。シリーズを通して描かれてきた「痛々しくも美しい青春ストーリー」がさらにパワーアップしています。

山本監督は、基町高校創造表現コースから比治山大学短期大学部美術科を経て、現在はフリーのアニメーション作家として活躍中です。2013年にはテレビアニメ作品『メガネブ!』の監督も手掛けられ、今後も目が離せません。



Pickup

NPO法人広島アニメーションシティは、今年度、瀬戸内しまのわ2014・民間企画イベントの一環として「しまのわライトノベルコンテスト」を開催!

広島県と愛媛県による瀬戸内しまのわ 2014 の民間企画イベントとして NPO 法人広島アニメーションシティが瀬戸内海をテーマにした「しまのわライトノベルコンテスト」を開催。若者に人気のライトノベルで地域の魅力を表現する試みです。2014 年 11 月 9 日 (日)、旧日本銀行広島支店 1 階にて表彰式が行われました。



受賞式の様子

【受賞者一覧】

● 優秀賞 (副賞 10 万円)
「島姫ウォーズ〜隠し神の島」
作者: 碧乃 諒 さん

● 佳作 (副賞 5 万円)
「龍とカインとなぎさ」
作者: タキ さん

● 特別賞 (副賞 5 万円)
「セトリムインフェルノ!」
作者: 安日々庵 しいた さん

● Web 投票賞 (副賞 5 万円)
「瀬戸内海の栓、抜けちゃいました」
作者: 銀の翼 さん

イベント情報 ▶▶▶ 大学・短大・専門学校 卒業制作展 特集

広島市立大学 芸術学部
第 18 回卒業終了作品展 2015

2015 年 2 月 14 日 (土) - 2 月 19 日 (木)
10:00 - 17:00 (入場は 16:30 まで) 入場無料

広島市現代美術館 / 広島市立大学芸術学部棟

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1 / 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

広島国際学院大学 情報デザイン学部
第 8 回卒業研究・卒業制作展

2015 年 2 月 27 日 (金) - 3 月 1 日 (日)
9:00 - 17:00 入場無料

アステールプラザ 市民ギャラリー

〒732-0812 広島県広島市中区加古町 4-17

比治山大学短期大学部 美術本科
第 47 回卒業制作展 / 専攻科第 13 回修了制作展

2015 年 1 月 20 日 (火) - 2015 年 1 月 25 日 (日)
9:00 - 17:00 (金曜日 19:00 閉館) 入場無料

広島県立美術館 県民ギャラリー

〒730-0014 広島市中区上横町 2-22

穴吹デザイン専門学校
卒業修了制作展 2015

2015 年 3 月 3 日 (火) - 2015 年 3 月 8 日 (日)
9:00 - 17:00 (金曜日 17:00 閉館) 入場無料

広島県立美術館 県民ギャラリー

〒730-0014 広島市中区上横町 2-22

広島情報専門学校
卒業研究発表会

2015 年 2 月 20 日 (金)
11:00 - 15:30 入場無料

南区民文化センターホール

〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町 16-27

総合学園ヒューマンアカデミー広島校
ヒューマンエキシビジョン 2014

2015 年 2 月 15 日 (日)
12:00 - 18:00 入場無料

広島駅南口地下広場

〒732-0822 広島市南区松原町 9-1

市民公開講座

宇宙への大冒険
きみの部屋から宇宙へ行ってみよう!

2015 年 1 月 24 日 (土) 15:00 - 16:30 (14:30 開場) 入場無料
広島市こども文化科学館 1F アポロホール 〒730-0011 広島県広島市中区基町 5 番 83 号

ライブイベント

広島工業大学専門学校
アコースティックライブイベント

2015 年 1 月 28 日 (水) 午後 入場無料
紙屋町チャレオ中央広場 〒730-0011 広島県広島市中区基町地下街 100

比治山大学短期大学部 美術科

映像・アニメーションコース
山村浩二 客員教授
授業進行中!

マンガ・キャラクターコース
客員教授 こうの史代原作
「この世界の片隅に」
アニメーション映画製作中!

● 私たちは広島市と連携して若い才能を発掘育成します ●

発行日: 2015 年 1 月 20 日 発行部数: 4000 部 発行: 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集: NPO 法人広島アニメーションシティ (HAC) デザイン: 広島国際学院大学情報文化学部 岡川研究室
【紙面についてのお問合せ】 NPO 法人広島アニメーションシティ事務局
〒739-0321 広島市安芸区中野 6-20-1 広島国際学院大学情報文化学部 谷口研究室内
http://hac.or.jp Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723